

なぜ商品名を「カタカナ」「アルファベット」で表記するのか —『菓子・スナック』と表記との関連性を探る—

清海節子

[要旨]

本研究では、売れ筋商品のネーミングにおいて、「カタカナ」と「アルファベット」が用いられている割合はどのくらいか、外国語（特に英語）がどの程度関わっているのか、また、日本語はこれらの表記に使われているのかどうか等の調査を行った。具体的には、amazon.co.jpの売れ筋ランキング100位までの『せんべい・米菓』、『スナック菓子』、『ビスケット・クッキー』のデータを調査・分析し、比較した。調査結果に基づくと、これらの菓子3種に共通する点は、予想通り、英語を表す傾向が確認された一方で、アルファベット表記は単独で使われる傾向があることが分かった。さらに「カタカナ」と「アルファベット」の組み合わせ表記の頻度が極めて低いことも明らかにされた。相違点の一つとして、「アルファベット」のみの表記が『せんべい・米菓』が1例であったのに対し、『スナック菓子』は14例、『ビスケット・クッキー』は38例であった。

[キーワード] 商品名 カタカナ アルファベット
表記 外国語

1. はじめに

本稿は、日本語の商品名(ネーミング)に於ける「カタカナ」と「アルファベット」を調査し、主に、商品と表記との関連性、また、これら表記の役割を考察していく。日本語の文字種は、世界の言語の中で最も豊富であると言われている。日常的には、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字の5種類が用いられている。¹⁾ その中で、カタカナとアルファベットは外来語との関連性が強い。商品のネーミングは売り上げに影響を与えられると思われるため、消費者の目に留まるように、一般的な表現

から逸脱し、創造的に考えられる可能性が高い。近年では、カタカナは、漢字の代用や、強調のためにも使われている。同様に、以前より頻繁にアルファベットもネーミングに使われているようである。本研究では、売れ筋商品のネーミングにおいて、実際にどの程度、カタカナとアルファベットが用いられているのか、また外国語（特に英語）が何割ぐらい関わっているのか、さらに、日本語はこれらの表記で、どの程度用いられているのか等を知るための調査を行う。売れ筋商品は、目にする機会が多いため、我々の表記に対する認識に何らかの影響を及ぼしているはずである。従って、最近の表記の傾向を知ることから、我々が理解するモノと表記との関係性がある程度明らかにすることができると思われる。

今回の調査方法としては、主に、スーパーや小売店で販売されている商品名を対象とし、Web上のデータに基づいて検討する。通販サイトamazon.co.jpの売れ筋ランキングのデータを使う。ランキング上位の商品は、商品自体の魅力は当然あるだろうが、そのネーミングにも売り上げを促進する工夫があると推測される。ランキングは31のカテゴリがあるが、その中の『食品・飲料・お酒』を選び、サブカテゴリー『菓子・スナック』を調査する。22分類されている中で、『せんべい・米菓』、『スナック菓子』、『ビスケット・クッキー』を比較する。これら3種は、低価格が多く、また性別や年齢に関係なく誰でも気軽に買う商品である。せんべいは、英語で‘Japanese rice crackers’のように、日本の菓子である。スナック菓子やビスケットなどは、カタカナで表記されていることから分かるように、西洋から入った菓子である。安価なスナック菓子に比べ、ビスケット・クッキーは、贈り物として購入することもある。従って、値段の幅があり、

高級イメージの商品もある。これら3種で売り上げ上位の商品名をデータとして調査すれば、必ず異なる傾向が見られるはずである。せんべいは、カタカナやアルファベットの表記が最も少ないように予想されるが、どの程度使われているのだろうか。スナック菓子とビスケット・クッキーは、表記にかんしては共通点が多いと思われるが、相違点は見つかるであろうか。実際に、何語がカタカナ・アルファベットで表記されているのであろうか。英語関連語の割合は高いと推測されるが、何割程度であろうか。また、クッキーなどの洋菓子にはフランス語がどの程度用いられているのだろうか。このように、カタカナ・アルファベットの使用頻度の違いだけでなく、外国語関連の割合などについて詳細に検討する。

本論の構成は次の通りである。2節では、日本語の表記と機能について概観する。3節では、商品名に於ける「カタカナ」と「アルファベット」について、ランキング100位までの調査結果と分析を『せんべい・米菓』、『スナック菓子』、『ビスケット・クッキー』の順に紹介する。4節では、3節で確認された調査結果に基づく考察を行い、これらの菓子3種の共通点と相違点を提示する。5節では、結論が述べられる。

2. 日本語の表記

日本語の表記について、簡潔にまとめていく。²⁾ 2.1では、現代日本語の表記の特徴を述べ、2.2では、北原(監修)林(編)(2018:22-37)を参考に、日本語の文字体系とその機能について説明する。具体的には、漢字、平仮名、カタカナ、アルファベット、洋数字、符号の順に、それぞれの機能を要約していく。

2.1 現代日本語の表記

現代日本語では、漢字、平仮名、カタカナを交ぜて用いることが一般的に行われている。³⁾ 今野(2017:141)は、日常的には、漢字平仮名交じりを基調とした上で、外来語をカタカナで表記し、さらに、アルファベットや、算用数字が交じることに我々は、慣れてしていると指摘している。しかしなが

ら、過去において、平仮名とカタカナを交ぜて用いることは、珍しいことであり、江戸時代において、徐々に、平仮名とカタカナを交用することがさまざまな場面で行われたという。

また『明解日本語学辞典』を参照すると、平仮名とカタカナは、本来使用領域が少々異なっていたのである。しかし、近代以降に、漢字仮名交じり文において、外来語・オノマトペをカタカナ表記にすることで、現代の日本語表記システムが成立された。そして、漢字・平仮名・カタカナの三種の文字を交用するシステムは、大正時代以降に確立したのである。

沖森(他)(2006)によると、カタカナは、表音的機能に優れているため、外来語、擬声語・擬態語、俗語などに使われている。また、日本語は、一般的には、ローマ字(アルファベット)で表記することはない。地名、駅名、人名などを外国人向けに示す場合、またコンピュータ入力するときにローマ字を用いる。その他、ある種の装飾効果を狙うこともあるという。

2.2 日本語の文字体系とその機能

以下、北原(監修)林(編)(2018:22-37)を参考に、日本語の文字体系とその機能について、簡潔に触れる。一般には、「文字」と呼ばれるが、個別の平仮名や漢字などの文字に対しても使われるので、漢字全体、平仮名全体と区別するために、全体を指すものを「文字体系」と捉えている。つまり、漢字、平仮名、カタカナ、アルファベット、洋数字、符号、それぞれが文字体系を構成すると考えられる。以下、それぞれの機能を要約する。

漢字平仮名交じり文と言われるように、「漢字」と「平仮名」は日本語表記の中心部を担っている。まず「漢字」は、実質的な概念を表す役割がある。次に「平仮名」は、概念部分を補助し、それらの相互関係を明示する非概念部分に使われる。具体的には、基本的に以下の部分に使われる。

(1)(i) 助詞・助動詞

(ii) 用言の活用語尾(送り仮名の部分)

(iii) 形式名詞・補助用言

(iv) 接続詞・感動詞・副詞

「カタカナ」の機能は、主に外国語や外来語などの特定の語を示すことである。具体的には、以下の部分に使われる。

(2)(i) 外来語・外国語

(ii) 学術用語・専門語

(iii) 俗語・隠語

(iv) 動植物名

(v) 擬音語・擬態語

カタカナは視覚的には、漢字、平仮名と違う特徴スタイルがあるため、カタカナで書かれた語は、漢字と平仮名から区別されることが容易にできる。例えば、以下を比較すれば、よく分かるだろう。

(3)(i) それぞれのめえかあのほうむぺいじにあくせすする。

(ii) それぞれのメーカーのホームページにアクセスする。

上のようにカタカナ部分を平仮名にした場合には、ことばの切れ目が明確でなく、非常に読みにくい。さらに、最近の若い世代や若者向けの雑誌で、カタカナ書きことばが増えていると指摘されている。外来語が多くなっていることも原因であろうが、外来語以外で、「感情・評価を表す部分」、「話しことば的な特徴を示す部分」にカタカナが多用されているという。⁴⁾ 例文として以下が挙げられている。

(4)(i) ウマくてもメンドウな料理はイヤだ。

(ii) チョームカツクから、ゼーツタイ口きかないんだ。

次に、「アルファベット」であるが、ローマ字として使われる場合と、符号や略号として使われる場合の二通りある。さらに、外来語の言語表記として使われたり、原文表現の引用で使われる場合もある。「アルファベット」は、文レベルや文章レベルで使

われることはほとんどなく、日常生活では、主に、駅名、地名、固有名詞（企業名を含む）などの語レベルで用いられている。実際、アルファベットは、ローマ字としてより、符号や略号としてよく使われる。符号としては、順序を表すのに、A, B, C…, a, b, c…が使われる。略号としては、大きさを表す L, M, S や、単位の g (グラム), km, 地名の NY, LA, また、組織名では、JICA, NATO などがある。

「洋数字」は、主に、アラビア数字とローマ数字である。アラビア数字の機能としては、数量を表示することと、「アルファベット」と同様に、順序を表す符号として使われる。ローマ数字は、多くが見出しの番号などの順序を表示する場合に使われる。

「符号」は、句読点、かぎ、かっこなど元来符号を示す。主に用途によって、次の4種類に分けられる。

(5)(i) 主に区切りのために用いられる（句読点、中点、かぎ、かっこ、ダッシュ）

(ii) 主に目立たせるために用いられる（圏点、傍点、傍線、下線）

(iii) 音の表情や表現意図を示すために用いられる（疑問符、感嘆符、点々、点線）

(iv) 同じ字の繰り返しを示すために用いられる（繰り返し符号）

以上、漢字、平仮名、カタカナ、アルファベット、洋数字、符号の機能を要約した。本稿で焦点を当てるのは、「カタカナ」と「アルファベット」である。「カタカナ」は主に外国語や外来語などの特定の語を示すが、最近では「感情・評価を表す部分」、「話しことば的な特徴を示す部分」にも使われていることが指摘されていた。「アルファベット」は、一般的には、符号や略号としてよく使われるが、本稿では、主に地名、または、固有名詞として表記されていることが予想される。

3. ランキングデータ調査

通販サイト amazon.co.jp の売れ筋ランキング上

位をデータとして、3種類の菓子を対象に、「カタカナ」「アルファベット」で表記されている商品名の調査を行った。⁵⁾ 売れ筋ランキングは、30のカテゴリに分類されているが、その中で『食品・飲料・お酒』を選び、さらに、そのサブカテゴリ『菓子・スナック』を扱う。⁶⁾ 『菓子・スナック』は22分類されていて、その中で、典型的な日本の菓子である『せんべい・米菓』、気軽に食べる『スナック菓子』、洋菓子を代表する『ビスケット・クッキー』を比較する。

今回の調査では、できるだけパッケージや商品箱に最も顕著に印刷されている文字を確認し、それを商品名とみなした。従って、ネット上で商品説明に記されている名前とは異なることもあり得る。各商品には、写真が添えられていることが多く、主にそれを参考に最も目立つ表記を選ぶことにした。ランキング100位までを調査し、50位までは、表作成した。表は1位から50位の順に商品名、メーカー

名、文字種（「カタカナ」か「アルファベット」）、さらに2番目に顕著な表示がある場合や、コメント等があれば、右側の欄に記入した。表では同じネーミングが複数回挙げられることがあるが、1例として捉えた。51位から100位までは、関連するデータのみを取り出し列挙した。

3.1 『せんべい・米菓』

最初に、amazon.co.jpの売れ筋ランキングの中で、『せんべい・米菓』のデータをもとに、商品のパッケージ表示を検討する。上位100件を扱ったが、その内50位までは表にまとめ、51位から100位までは、関連する商品名を列挙する。3.1.1では、カタカナ・アルファベット表記にかんするランキング調査結果を主に表で報告する。3.1.2では、これらの表記のために、どの言語が用いられているかについて検討する。

3.1.1 ランキング調査

表1 『せんべい・米菓』ランキング

順	商品名（包装紙などで最も顕著な表示）	メーカー名	文字種(カタカナ・アルファベットのみ)	2番目に顕著な表記 / コメント等
1	かきたねキッチン	とよす	カタカナ	
2	亀田の柿の種	亀田製菓		「ピーナッツなし」が下に書かれている。
3	技のこだ割り	亀田製菓		「技」の右には、縦に「わざ」というふりがなが添えられている。
4	亀田の柿の種 梅しそ	亀田製菓		「ピーナッツなし」が下に書かれている。
5	Kumitte	中央軒煎餅	アルファベット	
6	くちどけおこめぼー	KJC (ケイジェイシー)		「EDISON」(ブランド名)が上に書かれている。
7	花色しおん	中央軒煎餅		
8	ぎおんの里	祇園辻利		「抹茶菓子」と右に書かれている。
9	訳あり カライーカ	千成商会	カタカナ	業務用のピリ辛イカフライのお菓子
10	(小分け小袋90)	亀田製菓		さまざまな小袋がはいっている。
11	割れ醤油煎餅	天然生活		無地袋
12	技のこだ割り 12袋	亀田製菓		
13	感謝のきもち	大阪前田製菓		
14	亀田の柿の種 わさび	亀田製菓		「ピーナッツなし」が下に書かれている。

なぜ商品名を「カタカナ」「アルファベット」で表記するのか—『菓子・スナック』と表記との関連性を探る—

15	堅ぶつ	亀田製菓		
16	海苔ピー	亀田製菓	カタカナ	「バック」が下にかかれている。
17	つじりの里	祇園辻利		
18	いねの音色	中央軒煎餅		
19	朝日あげ (30 袋)	播磨屋本店		
20	千寿せんべい	鼓月		「姫」が赤で一番上にかかれている。
21	無選別えびせんべい	天然生活		無地袋
22	柿の種 (6 袋)	亀田製菓		
23	兼六の華	金澤兼六製菓		黒ごませんべいの詰め合わせ
24	つけやき	関口醸造		「け」が他の文字よりかなり小さい。
25	とうがらしの種	越後製菓		
26	オン・ザ・玄米	OGCmakimo	カタカナ	玄米 100%で、無塩の煎餅である。
27	め	山口油屋福太郎		辛子めんたい風味の煎餅。箱、個装の表記として、「め」だけが目立ち、「めんべい」という商品名は、かなり小さく表記されている。
28	(ミニ個包装のせんべい詰め合わせ)	亀田製菓		
29	星たべよ	栗山米菓		五角形の星型の煎餅
30	ボリュームパック	株式会社みの屋	カタカナ	柿の種 ビーナッツ入り
31	こつぶっこ	亀田製菓		
32	(海老つくし)	桂新堂		箱は縦に 5 尾の赤い海老の絵が描かれている。
33	バンザイ山椒	岩塚製菓	カタカナ	
34	きなこ餅	越後製菓		
35	黒豆	岩塚製菓		
36	やみつきしみかりせん	煎餅工房さがえ屋		
37	兼六の華 (詰め合わせ)	金沢兼六製菓		
38	もち吉職人館(小缶)	株式会社もち吉		
39	紙ふうせん	菓匠 高木屋		中にゼリーが入った最中
40	つじりの里 ぎおんの里	祇園辻利		中にクリームが入ったロール煎餅
41	南蛮えび煎餅	土産処きなせや本舗		
42	久助	まるせん米菓		
43	花丸せんべい	佐藤製菓		
44	はらぺこあおむし	はらぺこあおむし		
45	うす焼き	亀田製菓		より小さい文字で上には、「亀田の」、下には「サラダ」が書かれている。
46	柿の種 (12 袋)	亀田製菓		
47	ゆかり	坂角総本舗		

48	ハッピーターン 250%	亀田製菓	カタカナ	「250%」が「ハッピーターン」より、やや大きく見える。
49	もち吉職人館 (大缶)	株式会社もち吉		
50	朝日あげ (小缶)	播磨屋本店		

51 位から 100 位のデータから、カタカナまたは、アルファベットが含まれるものを以下に示す。

- (6) 52 位 「ぼんこめバー」(家田製菓)
- 56 位 「タニタ食堂おせんべい」(栗山米菓)
- 59 位 「カレーせん」(亀田製菓)
- 65, 72, 77, 85, 87 位「ハッピーターン」(亀田製菓)
- 80 位 「ソフトサラダ」(亀田製菓)
- 83 位 「ラッキー明太マヨ」(三真)

以上見てきたように、『せんべい・米菓』ランキングの商品名には、アルファベット表記が極めて少なく、カタカナ表記の方が、アルファベットより多い。分かりやすくするために、調査結果をカタカナとアルファベットだけに焦点を当て、以下の表2を作成した(商品名には下線を施した)。

表2から、表記の種類について考えてみよう。100 例中 [カタカナ表記のみ] は、3 例で、[アルファベットのみ]は 1 例だけであった。また、[カタカナ]と [アルファベット] の 2 種の組み合わせが使われ

表2 『せんべい・米菓』 1 位-100 位のカタカナ・アルファベット表記

表記(文字種) ([]内は商品名の数)	商品名 (カッコ内の番号はランキング順位: 51-100 位は 1-50 位にはない商品名のみが記されている。)
カタカナのみ [3]	<u>ボリュームパック</u> (30) <u>ハッピーターン</u> (65, 72, 77, 85, 87) <u>ソフトサラダ</u> (80)
アルファベットのみ[1]	<u>Kumitte</u> (5)
カタカナ&アルファベット [0]	なし
カタカナを含む表記 (平仮名・漢字・数字 も含む)[10]	かきたねキッチン (1) 訳あり <u>カライーカ</u> (9) <u>海苔ピー</u> (16) <u>オン・ザ・玄米</u> (26) <u>バンザイ山椒</u> (33) <u>ハッピーターン 250%</u> (48) <u>ぼんこめバー</u> (52) <u>タニタ食堂おせんべい</u> (56) <u>カレーせん</u> (59) <u>ラッキー明太マヨ</u> (83)
アルファベットを含む 表記(平仮名・漢字・ 数字も含む)[0]	なし

ている商品名はなかった。さらに、[平仮名・漢字・数字などを含むカタカナ表記] は、10 例であるが、[平仮名・漢字・数字などを含むアルファベット表記] が 1 例もなかったことから、アルファベットでの表記が極端に少ないことが特徴的である。

3.1.2 「カタカナ」と「アルファベット」で表された語

表2から、カタカナとアルファベットがどのような語に用いられているか見ることにしよう。まず、[カタカナのみ] は 3 例あるが、すべて英語である。即ち、'volume pack', 'happy turn', 'soft salad' が、

カタカナに置き換えられている。次の「アルファベットのみ」の例は、Kumitteの1例だけである。これは英語でないことは明らかであるし、和製英語でもないようである。また日本語としても意味不明であるので、由来を調べてみると、日本語由来の造語であることが分かった。中央軒煎餅のHP⁷⁾によると、この商品名4つの意味で「手を組む」という表現からできた造語であるという。第一に、商品の素材同士が手を組んでいる。第二に職人達が手を込め心を込めて作っている。三番目に、この商品を通じて、人と人が手を組み、大切な人と素敵な関係になっていく。四番目に、商品を作る上で大勢の人が関わり、お互いに手を組み、良いものを作っていく。また、「クミッテ」という響きも楽しく可愛らしいと説明されている。

「カタカナを含む表記」は10例あるが、その内キッチン、オン・ザ、ハッピーターン、バー、カレー、ラッキーは、英語（'kitchen' 'on the' 'happy turn' 'bar' 'curry' 'lucky'）である。また、ピー、マヨは、英語の「ピーナッツ 'peanuts」「マヨネーズ 'mayonnaise'」を省略し、最初の部分だけを用いている。つまり、10例中7例は、英語である。残りの3例は日本語である。まず、カライーカは、辛

いお菓子のイカフライであることから、「辛いイカ」の発音に面白味をもたせていると想像できる。つまり、語中の「i」を長母音化し、商品名全体をカタカナ表記の商品名にしている。バンザイ山椒は、「万歳三唱」と「万歳山椒」を掛けている。⁸⁾また、「タニタ」は会社名である。⁹⁾

以上から、100例中、カタカナが用いられているネーミング（[カタカナのみ] + [カタカナを含む表記]）は13例になるが、10例（76.9%）が英語であり、残りの3例（23%）は、日本語由来であることが分かった。また、「アルファベットのみ」が1例認められたが、外国語ではなく、日本語を表していることが、興味深い発見であった。

3.2 『スナック菓子』

次に、amazon.co.jpの売れ筋ランキングの中で、『スナック菓子』のデータをもとに、商品のパッケージ表示を検討する。上位100件を扱ったが、その内50位までは表にまとめ、51位から100位までは、関連する商品名を列挙する。3.2.1では、カタカナ・アルファベット表記にかんするランキング調査結果を主に表で報告する。3.2.2では、これらの表記には、どの言語が用いられているかについて考察する。

3.2.1 ランキング調査

表3 『スナック菓子』 ランキング

順	商品名 [パッケージなどでの最も顕著な表示]	メーカー名	文字種(カタカナ・アルファベットのみ)	2番目に顕著に目立つ表記/コメント等
1	かきたねキッチン	とよす	カタカナ	『せんべい・米菓』の1位にもランクされている。
2	業務用ポテトチップス	カルビー	カタカナ	袋の上にはメーカー名の Calbee が最も大きな文字で書かれている。
3	じゃがりこ	カルビー		サラダが下に書かれている。
4	ブタメン	おやつカンパニー	カタカナ	
5	堅あげ(うすしお味)	カルビー		「堅」が「あげ」より大きい。
6	じゃがりこ L (サラダ味)	カルビー	アルファベット	「L」が最も大きく書かれている。
7	じゃがりこ	カルビー		「大モリ」と下に書かれている。
8	miino	カルビー	アルファベット	上には「ミート」と小さく書かれている。
9	COLA ZERO	富永食品株式会社	アルファベット	何故かコーラが含まれていた

10	ベビースターラーメン	おやつカンパニー	カタカナ	「プロ野球」が最も大きく表記されている。
11	プロ野球	カルビー	カタカナ	右に「チップス」とかなり小さく書かれている。
12	BIG BAG うすしお	カルビー	アルファベット	「BIG BAG」がピンク色の大きな文字で最も目立つ。
13	ポテトフライ	東豊製菓	カタカナ	
14	カール (チーズ味 10 袋)	明治	カタカナ	
15	PRETZ	江崎グリコ	アルファベット	下に「旨サラダ」と書かれている。
16	(おやつラーメン業務用)	千成商会		袋は無表記
17	BODY STAR	おやつカンパニー	アルファベット	下に少し小さく「プロテインスナック」と書かれている。
18	パスタスナック	三州製菓	カタカナ	上に「糖質 54%オフ」と数字がかなり大きく表記されている。
19	大豆	大塚食品		「かりん」とが少し小さく左に書かれている。
20	Pasta Snack (3 種類)	三州製菓	アルファベット	
21	0 秒 チキンラーメン	日清食品	カタカナ	
22	PRINGLES	日本ケロッグ	アルファベット	
23	堅あげ (うすしお味)	カルビー		下に「BIG144g」と大きく書かれている。
24	暴君ハバナロ	東ハト	カタカナ	上に「炎下無双」と少し小さく書かれている。
25	プロ野球	カルビー	カタカナ	右に「チップス」とかなり小さく書かれている。
26	じゃがポックル	カルビー	カタカナ	
27	ピザポテト	カルビー	カタカナ	「ピザ」が「ポテト」より大きい表記である。
28	じゃがりこ L (チーズ味)	カルビー	アルファベット	「L」が最も大きく書かれている。
29	カール (うす味 / チーズ)	明治	カタカナ	うす味 / チーズ各 5 袋
30	カール (10 袋)	明治	カタカナ	うす味・チーズから選べる。
31	(詰め合わせセット)	カルビー		
32	うまい棒	リスカ		「うまい」に比べ「棒」はかなり小さい。
33	BAKED オーツ	カルビー	カタカナ/ アルファベット	
34	堅あげ (ゆず塩レモン味)	カルビー		
35	オサカーナ	有限会社九南サービス	カタカナ	上に「OH!」と少し小さく書かれている。
36	どっさり訳あり	味源		下に「じゃがスティック」と書かれている。
37	ポテトフライ じゃが塩バター など 3 種セット (60 袋)	東豊製菓	カタカナ	
38	Pasta Snack (ソルト味)	三州製菓	アルファベット	
39	じゃがポックル (2箱)	カルビー	カタカナ	
40	とんがり corn (焼とうもろこし)	ハウス食品	アルファベット	「corn」は、「とんがり」とほぼ同じ大きさ
41	堅あげ (ブラックペッパー)	カルビー		下に「BIG144g」と大きく書かれている。

なぜ商品名を「カタカナ」「アルファベット」で表記するのか—『菓子・スナック』と表記との関連性を探る—

42	駄菓子詰め合わせ 100 点	ノーブランド品		
43	スコーン	湖池屋	カタカナ	
44	PURE POTATO	湖池屋	アルファベット	「湖」が商品名の前に判子のように記されている。また下には、「ジャガイモ心地」が書かれている。
45	KETTLE	ケトル フーズ (アメリカ合衆国)	アルファベット	下に「POTATO CHIPS」「HONEY DIJON」と書かれている。
46	とんがり corn (あっさり塩)	ハウス食品		「corn」は、「とんがり」とほぼ同じ大きさ
47	カール (チーズ味 10 袋)	明治	カタカナ	ケース販売
48	焼くだけ	日清製粉ウェルナ		(唐揚げ粉)
49	かつぱえびせん	カルビー		「かつぱ」は少し小さく書かれている。
50	スティックポテト 4 種	湖池屋	カタカナ	

上のリストに含まれていない、カタカナまたは、アルファベットの表記を含む商品名を 51 位から 100 位のデータを調べ、それらの商品名をランキング順に並べると以下ようになる。

- (7) 56 位 Doritos (フリトレー)
- 57 位 サッポロポテト (カルビー)
- 68 位 Jagabee たこ焼き味 (カルビー)
- 72 位 ストロング (湖池屋)
- 74 位 Jagabee (カルビー)
- 75 位 ポテトデラックス (湖池屋)
- 80 位 Glico (江崎グリコ)
- 89 位 ORGANIC TORTILLA CHIPS (KIRKLAND: カーランド)

- 92 位 おやつサプリ (おやつカンパニー)
- 93 位 Chip Star (ヤマザキビスケット)
- 95 位 ベビースター焼きそば (カルビー)

以上の調査結果から、明らかに『せんべい・米菓』に比べて、『スナック菓子』の商品名には、カタカナとアルファベットが多用されていることが分かる。また、『せんべい・米菓』では、アルファベットが 1 例しかなく、カタカナの方が多かったが、『スナック菓子』では、カタカナとアルファベット表記の文字種別の差がそれ程ないように思われる。表 4 は、調査結果に基づき、カタカナとアルファベット表記を含む商品名だけを取り上げて作成したものである (商品名には下線を施した)。

表 4 『スナック菓子』 1 位-100 位のカタカナ・アルファベット表記

表記(文字種) ([]内は商品名の数)	商品名 (カッコ内の番号はランキング順位: 1-50 位の中の商品名で複数回ランキングに入っているものは、1-50 位内に限って順位が示されている。51-100 位は 1-50 位にはない商品名のみが記されている。)
カタカナのみ [11]	<u>ブタメン</u> (4) <u>ベビースターラーメン</u> (10) <u>ポテトフライ</u> (13) <u>カール</u> (14, 29, 30, 47) <u>パスタスナック</u> (18) <u>ピザポテト</u> (27) <u>オサカーナ</u> (35) <u>スコーン</u> (43) <u>サッポロポテト</u> (57) <u>ストロング</u> (72) <u>ポテトデラックス</u> (75)
アルファベットのみ [14]	<u>miino</u> (8) <u>COLA ZERO</u> (9) <u>PRETZ</u> (15) <u>BODY STAR</u> (17) <u>Pasta Snack</u> (20, 38) <u>PRINGLES</u> (22) <u>PURE POTATO</u> (44) <u>KETTLE</u> (45) <u>Doritos</u> (56) <u>Jagabee</u> (74) <u>Glico</u> (80) <u>Mike</u> (81) <u>ORGANIC TORTILLA CHIPS</u> (89) <u>Chip Star</u> (93)
カタカナ&アルファベット [1]	<u>BAKED</u> オーツ (33)

カタカナを含む表記(平仮名・漢字・数字も含む)[10]	かきたねキッチン (1) 業務用ポテトチップス (2) プロ野球 (11, 25) 0秒 チキンラーメン (21) 暴君ハバナネロ (24) ジャがボックル (26, 39) ポテトフライ ジャが塩バター (37) スティックポテト4種 (50) おやつサブリ (92) ベビースター 焼きそば (95)
アルファベットを含む表記(平仮名・漢字・数字も含む)[4]	じゃがりこ L (6, 28) BIG BAG うすしお (12) とんがり corn (40, 46) Jagabee たこ焼き味 (68)

表4から表記の種類については、次の点が明らかになった。表記の種類に関しては、100例中[カタカナ表記のみ]は11例で、[アルファベットのみ]の方が若干多く、14例であった。また、[カタカナ&アルファベット]の2種が使われている商品名は1例だけだった。平仮名・漢字・数字などを含む場合は、カタカナ表記は10例であり、アルファベット表記は4例であることから、複数の文字種には、アルファベットの表記の方が少ない傾向があると言えよう。

3.2.2 「カタカナ」と「アルファベット」で表された語

表4の商品名の中で、カタカナとアルファベットがどのような語に用いられているか検討してみよう。まず、[カタカナのみ]は11例あるが、9例は英語に関連している。ランク順に取り上げると、ベビースターラーメン(英語: BABY-STAR というブランド名のラーメン ‘ramen’)¹⁰⁾ ポテトフライ(和製英語: 英語では、‘fried potatoes’または ‘French fries’), パスタスナック(英語?: pasta snack: 「パスタ」はイタリア語であるが、英語でも使われる) カール(英語: ‘curl’)¹¹⁾ ピザポテト(英語?: pizza potato: 「ピザ」はイタリア語であるが英語でも使われる), スコーン(英語: scone), サツポロポテト(日本語+英語: 札幌 potato), ストロング(英語: strong) ポテトデラックス(英語?: potato deluxe)。一方で、残りの2例は、日本語由来の商品名である。まず、ブタメンという商品名は、「おやつカンパニー」のブランド名の一つである。ITmedia Inc.のサイトによると、とんこつ味のラーメンを分かりやすく、インパクトのある「ブタメン」としたということである。¹²⁾つまり、日本語の「豚」

と「麺」を合わせて、カタカナにした商品名である。もう一つの日本語由来は、オサカーナ(日本語: お魚)である。「さかな」に接頭語「お」を付けて、[ka]を長母音化し、アクセントが強調される印象がある。また、3モーラから5モーラにすることで、長さのインパクトが加わっている。

次に[アルファベットのみ]14例を考えることにする。14例の中10例が英語であると思われる。ランキング順に並べると、次のようになる: COLA ZERO(英語) BODY STAR(英語) Pasta Snack(英語)¹³⁾ PRINGLES(英語: アメリカのチップスのブランド名) PURE POTATO(英語) KETTLE(英語: アメリカのチップスのブランド名) Doritos(英語: アメリカのトルティーヤチップスのブランド名) Mike(英語)¹⁴⁾ ORGANIC TORTILLA CHIPS(英語: アメリカからの輸入品) Chip Star(英語)。

次に英語以外の外国語の例をあげる。PRETZ(ドイツ語: Brezelが由来: 英語で pretzel から、最初の部分を切り取った¹⁵⁾) Glico(メーカーである江崎グリコを商品名にしている: ドイツ語: グリコーゲン¹⁶⁾)。以上、ドイツ語の2例である。最後に、日本語が含まれる商品名は2例である。一つは miino であり、英語と日本語から作られた造語(‘me’+の)であり、その音をアルファベット化したのである。PR Times (2021.3.26)¹⁷⁾によると、miinoは、「あなたの暮らしに寄り添っていて欲しい、あなたのおいしいお気に入りになって欲しい」という想いと、いつでもどこでも楽しめる“私の”(meの)ための商品という意味が込められています」ということである。つまり、「自分のための」を意味する造語を英語の「me」と日本語の「の」を組み合わせて、アルファベットにしたのであるが、興味深いことに、このネーミングのスペルに、英語

の‘me’は使われていない。その理由は、‘me’を使うと‘meno’になり、「メノ」と読まれてしまうからであろう。ただ、‘mii’と変えているので、アルファベットを使っているとしても、‘mii’という語は、英語にないため、文字だけが、英語との関連性が認められることになるだろう。もう一つの例は、Jagabeeであり、日本語で作られた造語である。CalbeeのHPによると、世界を意識して英語の商品名を作ったという：「Jaga」は、じゃがいもに徹底的にこだわるということから「じゃが(Jaga)」の部分を取り、またCalbeeの「bee」を取って組み合わせた造語である。¹⁸⁾

〔カタカナ & アルファベット〕は、BAKED オーツ 1例のみであり、極めて稀な組み合わせである。「BAKED」も「オーツ (オート麦)」も英語である。パッケージをよく見ると、BAKEDの右横にかなり小さな文字で「バイクド」と書かれている。何故BAKED OATS、または、バイクド オーツにしなかったのだろうか。故意に文字種のずれを見せることで、消費者の目にインパクトを与えることを狙っているように感じられる。〔カタカナを含む表記〕は10例ある。その中で、カタカナが英語を表しているのは、次の9例である：かきたねキッチン、業務用ポテトチップス、プロ野球、0秒チキンラーメン

ン、暴君ハバネロ¹⁹⁾、ポテトフライ じゃが塩バター、スティックポテト 4種、おやつサブリ²⁰⁾、ベビースター 焼きそば。唯一、英語でないのは、じゃがポックルである。「ポックル」は、アイヌ語の「コロ・ポックル」(麓の下の人)に由来している。アイヌの伝説上妖精で、心優しく、幸せをもたらすと伝えられている。つまり、このネーミングは、「じゃがいも」と妖精の名を合わせた造語である。²¹⁾〔アルファベットを含む表記〕は4例であり、その内、3例が英語(じゃがりこ L、とんがり corn、BIG BAG うすしお)である。Jagabee たこ焼き味は、英語でなく、上の〔アルファベットのみ〕で言及した日本語の造語である。

3.3 『ビスケット・クッキー』

最後に、amazon.co.jpの売れ筋ランキングの中で、『ビスケット・クッキー』のデータをもとに、商品のパッケージ表示を調査する。上位100件を扱ったが、その内50位までは表にまとめ、51位から100位までは、関連する商品名を列挙する。3.3.1では、カタカナ・アルファベット表記にかんするランキング調査結果を主に表で報告する。3.3.2では、これらの表記に、どの言語が用いられているかを調べることにする。

3.3.1 ランキング調査

表5 『ビスケット・クッキー』 ランキング

順	商品名 (包装紙などで最も顕著な表示)	メーカー名	文字種(カタカナ・アルファベットのみ)	2番目に顕著な表記 / コメント等
1	SUGAR BUTTER SAND TREE	銀のぶどう	アルファベット	
2	(お菓子詰め合わせ)	KAZARIS		箱に商品名は書かれていない。
3	ビスコ	江崎グリコ	カタカナ	
4	LANGUE DE CHAT	資生堂パーラー	アルファベット	
5	YOKUMOKU	株式会社ヨックモック	アルファベット	箱には商品名がなく、個別包装にYOKUMOKUとその下に菓子の種類('Cigare', 'Double chocolat blanc' 等)が書かれている。
6	銀座千疋屋	銀座千疋屋		レーズンサンドクッキーであるが、箱には、会社名のみ
7	STELLA'S	アントステラ	アルファベット	箱の上に「WARM HEART COMMUNICATION」と書いてある。

8	LONGER	株式会社ロイスダール	アルファベット	ロンジェというクッキーの詰め合わせ
9	BAKED COOKIE	中山製菓	アルファベット	
10	Merveille	コロパン	アルファベット	筆記体で書かれている。
11	Fours Secs (9枚入り)	コロパン	アルファベット	筆記体で書かれている。 フルセック(フランス語 fours secs : クッキー)の詰め合わせ
12	SUNAO(発酵バター: 15 枚 x10袋)	江崎グリコ	アルファベット	
13	(クルミっ子 こわれ)	鎌倉紅谷		
14	ビスコ	江崎グリコ	カタカナ	
15	RUYSDAEL	株式会社ロイスダール	アルファベット	上に「おいしさの森」が書かれてい る。
16	SUNAO(チョコチップ& 発酵バター)	江崎グリコ	アルファベット	
17	Merveille (アマゾン限定)	コロパン	アルファベット	アルファベットが筆記体で書かれて いる。
18	訳ありベルギーワッフル	天然生活	カタカナ	商品名は包装紙に目立つようには書 かれていない。
19	Fours Secs (19枚入り)	コロパン	アルファベット	筆記体で書かれている。 フルセック(フランス語 fours secs : クッキー)の詰め合わせ
20	FIGARO	三立製菓	アルファベット	
21	ビスコ(缶入り)	江崎グリコ	カタカナ	
22	Lotus Biscoff	伊藤忠商事(ベルギ ー商品)	アルファベット	
23	無選別オートミール豆乳お からクッキー	天然生活	カタカナ	商品名は包装紙に目立つようには書 かれていない。
24	Copenhagen	ケルセン(デンマーク)	アルファベット	下に「Danish Mini Cookies」
25	BALANCE POWER	ハマダコンフェクト	アルファベット	
26	SUGAR BUTTER SAND TREE(14個入り)	銀のぶどう	アルファベット	
27	豆乳おからクッキー(訳あり)	天然生活	カタカナ	商品名は包装紙に目立つようには書 かれていない。
28	八女茶の抹茶焼きショコラ	コロパン	カタカナ	
29	無選別ガーリックラスク	天然生活	カタカナ	商品名は包装紙に目立つようには書 かれていない。
30	Cafe Primula	カフェプリムラ	アルファベット	パッケージの下のほうに「おから 100%クッキー」と書いてある。
31	たべっ子どうぶつ	ギンビス		
32	ビスコ(カフェオレ)	江崎グリコ	カタカナ	
33	クルミっ子	鎌倉紅谷	カタカナ	
34	YOKUMOKU(3種詰め 合わせ)	株式会社ヨックモック	アルファベット	箱には商品名がなく、個別包装に YOKUMOKUとその下に菓子の種 類('Cigare', 'Double chocolat blanc' 等)が書かれている。
35	SUNAO(発酵バター: 30 枚 x5箱)	江崎グリコ	アルファベット	
36	Walkers	ウォーカー(イギリス)	アルファベット	
37	ZERO	ロッテ	アルファベット	

なぜ商品名を「カタカナ」「アルファベット」で表記するのか—『菓子・スナック』と表記との関連性を探る—

35	SUNAO(発酵バター: 30枚 x5箱)	江崎グリコ	アルファベット	
36	Walkers	ウォーカー(イギリス)	アルファベット	
37	ZERO	ロッテ	アルファベット	
38	OREO	モンデリーズ・ジャパン	アルファベット	
39	(クッキー詰め合わせ)	KAZARIS		
40	SUGAR BUTTER SAND TREE (7個入り)	銀のぶどう	アルファベット	
41	H. (塩キャラメルサンドクッキー)	ショウエイ	アルファベット	真ん中に「H」, その上には、「H. SELECTION」
42	French Pie	コロパン	アルファベット	
43	Royal Assortment	コロパン	アルファベット	
44	SUGAR BUTTER SAND TREE (7個入り)	銀のぶどう	アルファベット	
45	N.Y. CARAMEL SAND (東京限定)	東京玉子本舗	アルファベット	
46	maison du miel	メゾン デュ ミエル (愛知県)	アルファベット	店舗もアルファベット表記
47	Merveille (チョコサンドクッキー)	コロパン	アルファベット	アルファベットが筆記体で書かれている。
48	ちんすこう (訳あり詰め合わせ)	名嘉真製菓 ながはま製菓他		
49	白い恋人達	石屋製菓		
50	N.Y. CARAMEL SAND	東京玉子本舗	アルファベット	下の方に「CARAMEL」と少し小さく書かれている。

上のリストに含まれていない、カタカナまたは、アルファベットの表記の商品名を51位から100位のデータから探した。以下はランキング順にリストにしたものである。

- (8) 51位 「Tokyo Rusk」(東京ラスク)
- 53位 「KIHACHI」(サザビーリーグ)
- 57位 「KOBE COOKIE」(昭栄堂製菓株式会社)
- 58位 「VERMEIREN」
(ベルメーレン[VERMEIREN:ベルギーの会社])
- 61位 「Crushed Gaufres Cookies」
(上野風月堂)
- 62位 「BATON COOKIES」
(ロイズコンフェクト)
- 66位 「TOKYO」(風美庵)
- 69位 「NY」(風美庵)
- 73位 「TRADITION」
(レクラーク [Leclerc: カナダの会社])

- 77位 「KOBE TRAD COOKIES」(神戸浪漫)
- 81位 「GALLER」(Galler Japan)
- 82位 「鳩サブレ」(豊島屋)
- 83位 「Biscotti」(高千穂ムラたび)
- 87位 「セブーレ」(ブルボン)
- 88位 「PRETZ」
(江崎グリコ:『スナック菓子』15位にもランクされている)
- 90位 「発酵バターが薫るショートブレッド」
(江崎グリコ)
- 91位 「RITZ」
(モンデリーズ・インターナショナル)
- 93位 「小麦胚芽のクラッカー」(森永製菓)
- 98位 「TOKYO MILK CHEESE FACTORY」
(株式会社シュクレイ)
- 99位 「マルセイバターサンド」(六花亭)
- 100位 「IMPERIAL HOTEL COOKIES」
(帝国ホテル)

表5と(8)の『ビスケット・クッキー』のランキン
グ調査データから、カタカナ・アルファベット表
記の商品名が多いことは明らかであるが、特にアル
ファベット表記が極めて多用されていることが注目

される。それでは、表記の割合を調べるために、商
品名をカタカナとアルファベットに分けてみよう。
表6は、この文字種にかんするデータをリスト化し
ている（商品名には下線を施した）。

表6 『ビスケット・クッキー』1位-100位のカタカナ・アルファベット表記の商品名

表記(文字種) ([]内は商品名の数)	商品名 (カッコ内の番号はランキング順位: 1-50位の中の商品名で複数回ランキングに入っているものは、1-50位内に限って順位が示されている。51-100位は1-50位にはない商品名のみが記されている。)
カタカナのみ [3]	<u>ビスコ</u> (3,21) <u>セブーレ</u> (87) <u>マルセイバターサンド</u> (99)
アルファベットのみ [38]	<u>SUGAR BUTTER SAND TREE</u> (1,26,40,44) <u>LANGUE DE CHAT</u> (4) <u>YOKUMOKU</u> (5, 34) <u>STELLA'S</u> (7) <u>LONGER</u> (8) <u>BAKED COOKIE</u> (9) <u>Merveille</u> (10, 17, 47) <u>Fours Secs</u> (11,19) <u>SUNAO</u> (12,16, 35) <u>RUYSDAEL</u> (15) <u>Figaro</u> (20) <u>Lotus Biscoff</u> (22) <u>Copenhagen</u> (24) <u>BALANCE POWER</u> (25) <u>Cafe Primula</u> (30) <u>ZERO</u> (37) <u>OREO</u> (38) <u>H.</u> (41) <u>French Pie</u> (42) <u>Royal Assortment</u> (43) <u>N.Y. CARAMEL SAND</u> (45, 50) <u>maison du miel</u> (46) <u>Tokyo Rusk</u> (51) <u>KIHACHI</u> (53) <u>KOBE COOKIE</u> (57) <u>VERMEIREN</u> (58) <u>Crushed Gaufres Cookies</u> (61) <u>BATON COOKIES</u> (62) <u>TOKYO</u> (66) <u>NY</u> (69) <u>TRADITION</u> (73) <u>KOBE TRAD COOKIES</u> (77) <u>GALLER</u> (81) <u>Biscotti</u> (83) <u>PRETZ</u> (88) <u>RITZ</u> (91) <u>TOKYO MILK CHEESE FACTORY</u> (98) <u>IMPERIAL HOTEL COOKIES</u> (100)
カタカナ&アルファ ベット [0]	なし
カタカナを含む表 記(平仮名・漢字・ 数字も含む) [8]	<u>訳ありベルギーワッフル</u> (18) <u>無選別オートミール豆乳おからクッキー</u> (23) <u>豆乳おからクッキー</u> (27) <u>八女茶の抹茶焼きショコラ</u> (28) <u>無選別ガーリックラスク</u> (29) <u>鳩サブレ</u> (82) <u>発酵バターが薫るショートブレッド</u> (90) <u>小麦胚芽のクラッカー</u> (93)
アルファベットを含 む表記(平仮名・漢 字・数字も含む) [0]	なし

表6を見て、表記の種類を確かめてみよう。100
例中、[カタカナ表記のみ]は3例であるが、驚く
べきことに、[アルファベットのみ]は38例もあり、
圧倒的に多い。また、[カタカナ&アルファベット]
の例は見つからなかった。さらに、[カタカナを含
む表記]は、8例であるが、[アルファベットを含
む表記]は1例もなかった。これは、複数の文字種
がある場合は、アルファベットではなく、カタカナ
との組み合わせになる強い傾向があることを示唆し
ている。

3.3.2 「カタカナ」と「アルファベット」で表され た語

表6から、カタカナとアルファベットがどのよ
うな語に用いられているか見ることにしよう。ま
ず、[カタカナのみ]は、ビスコ、セブーレ、マル
セイバターサンドの3種である。「ビス」と「バター
サンド」だけが英語に関連している。まず、ビスコは、
英語の要素は入っているが、部分的なので英語で
あるとは言えないであろう。GlicoのHPによると、
酵母を入れたビスケットを作り、栄養菓子だと分か
るような商品名を考えた。²²⁾「酵母ビスケット」を

略して、「コービス」になり、前後を入れ替えて「ビスコ」になったという。次のセブールは、メーカーのHPを調べても分からなかった。商品の箱には、商品名の下に小さな文字で‘CEBUERRE’と書かれている。これは英語ではなく、フランス語のバター‘beurre’が部分的に使われていると想像できる。マルセイバターサンドは、六花亭のHPによると、「菓名の由来は、十勝開拓の祖・依田勉三が率いる晩成社が十勝で最初に作ったバターである [マルセイ

バター]に因んでいる」とのことである。²³⁾「サンド」は、英語のサンドイッチ(‘sandwich’)の略であるが、英語ではこのような略語はなく、砂(‘sand’)を意味することになってしまう。従って、[カタカナのみ]の表記には、部分的に英語が用いられてはいるが、ネーミング全体を英語とみなすことができない。

次に [アルファベットのみ] 38例を考えることにする。数が多いため、次の基準で、5分類に分ける：(i)メーカー名 (またはブランド名) (ii) 英語のみ (iii)

表7 『ビスケット・クッキー』 1位-100位の [アルファベットのみ] 表記の分類

メーカー名 (ブランド名) [9]	<u>YOKUMOKU</u> <u>RUYSDAEL</u> <u>Cafe Primula</u> <u>VERMEIREN</u> <u>maison du miel</u> ²⁴⁾ <u>Tokyo Rusk</u> <u>KIHACHI</u> <u>GALLER</u> (ベルギーの会社) <u>TOKYO MILK CHEESE FACTORY</u>
英語のみ [15]	<u>STELLA'S</u> <u>BAKED COOKIE</u> <u>Copenhagen</u> <u>BALANCE POWER</u> <u>ZERO</u> <u>H.</u> ²⁵⁾ <u>French Pie</u> <u>Royal Assortment</u> <u>KOBE COOKIE</u> <u>BATON COOKIES</u> <u>TOKYO</u> <u>NY</u> <u>TRADITION</u> <u>KOBE TRAD COOKIES</u> <u>IMPERIAL HOTEL COOKIES</u>
英語を含む [3]	<u>SUGAR BUTTER SAND TREE</u> (「サンド」は、英語のサンドイッチ(‘sandwich’)の略であり、和製英語と考える) <u>N.Y. CARAMEL SAND</u> (「サンド」は和製英語) <u>Crushed Gaufres Cookies</u> (「砕いたゴーフルクッキー」: Gaufres はフランス語)
英語以外の言語 [7]	<u>LANGUE DE CHAT</u> (フランス語:「猫の舌」) <u>LONGER</u> (フランス語:「~に沿って歩く」 ²⁶⁾) <u>SUNAO</u> ²⁷⁾ (日本語:「素直」) <u>Merveille</u> (フランス語:「素晴らしい」(伝統菓子の名前)) <u>Fours Secs</u> (フランス語:「窯で乾かした」)(一種の焼き菓子) <u>Figaro</u> (スペイン語: 人名『フィガロの結婚』から) <u>Biscotti</u> (イタリア語:「クッキー」)
その他 (造語など) [4]	<u>Lotus Biscoff</u> (ロータス社の Biscoff (=Biscuit for coffee) コーヒーに合うビスケット。英語からの造語である。 ²⁸⁾) <u>OREO</u> (造語であるらしい: 由来については諸説ある) <u>PRETZ</u> (pretzel「プレッツェル」の最初の部分を切り取った造語) <u>RITZ</u> (英語 ‘ritz」「贅沢な」からの造語または、ホテルのザ・リッツ・カールトンからの由来であるとも言われている)

英語を含む (iv) 英語以外の言語 (v) その他 (造語など)。表7は、この基準で分類したリストである。左の欄の数字は、例数の合計である。

表7の各グループの割合を確認する。まず、[メーカー名]は、38例中、9例(23.7%)の中で、3社(Tokyo Rusk, TOKYO MILK CHEESE FACTORY Cafe Primula²⁹⁾)が英語であり、割合としては決して多くない。残り6例の中では、1例がフランス語由来(maison du miel)である。その他5例は、固有名詞である。YOKUMOKUは、スウェーデンの町の名前、RUYSDAEL(ロイスダール)は、オランダの画家の姓である。残り3社は、創業者の姓名が由来である。VERMEIREN(ベルメーレン)とGALLER(ガレー)は、ベルギーの創業者の姓であり、KIHACHIは、熊谷喜八の名前をアルファベットにしている。³⁰⁾

次に、英語に関連する語の割合を考えると、38例中、[英語のみ][英語を含む]を合わせると18例(47.4%)になるので、半数近くあるが、大多数とはいえない。英語のメーカー名の3社を足せば、21例(55.3%)にはなる。また、[英語以外の言語]は、7例(18.4%)あるが、4例(10.5%)のフランス語が最も多い。日本語も1例あった。[その他]は、4例(10.5%)で、造語がアルファベット表記の約一割であることが分かった。

最後に、表6の[カタカナを含む表記]の8例を検討する。8例の内2例は、漢字とカタカナの組み合わせで、無選別ガーリックラスクと鳩サブレである。これらのカタカナ部分は、英語('garlic rusk')とフランス語('sablé')である。残りの6例は、漢字とひらがなを含んでいる。次の4例は、英語をカタカナにしたものである：無選別オートミール豆乳おからクッキー、豆乳おからクッキー、発酵バターが薫るショートブレッド小麦胚芽のクラッカー。訳ありベルギーワッフルの「ワッフル」は英語('waffle')であるが、「ベルギー」は英語では、'Belgium'または、形容詞の'Belgian'になるべきである。ベルギーは、公用語が複数ある国なので、オランダ語(フラマン語)の発音からベルギーとなったと思われる。実際、『スーパー大辞林』では、「ベ

ルギーワッフル」を「オランダ België + 英 waffle」としている。八女茶の抹茶焼きショコラは、フランス語でチョコレートを意味する'chocolat'をカタカナにしている。以上から、カタカナを含む例8例の内、5例が英語であり、フランス語2例とオランダ語(+英語)が1例であった。

4. 考察

4節で観察された「カタカナ」と「アルファベット」の調査結果を比較し、商品と表記との関連性、また、表記の役割を考えていく。以下では、最初に『せんべい・米菓』『スナック菓子』『ビスケット・クッキー』それぞれの特徴を要約し、傾向を述べる。次に、これらを比較することから認められる相違点と共通点を提示する。

『せんべい・米菓』の「カタカナ」と「アルファベット」で表記された語の特徴をまとめてみよう。例数に注目すると、ランキング100位の中で、「カタカナ」と「アルファベット」表記に係るネーミング総数は、14例であった。カタカナが用いられているネーミングは、13例([カタカナのみ]+[カタカナを含む表記])であり、そのうち10例(76.9%)が英語であった。残りの3例(23%)は、日本語由来であり、「辛い」「万歳」「谷田」をカタカナにしている。また、アルファベット表記は、1例(Kumitte)のみであった。外国語由来ではなかったことは、興味深く、日本語の表現「手を組む」から作られた造語であることが分かった。また、[カタカナ&アルファベット]と、[アルファベットを含む]表記に関する例は見つけられなかった。従って、日本語由来の割合は、14例中4例で、28.6%になる。

『スナック菓子』のネーミングでは、「カタカナ」と「アルファベット」表記のネーミング総数は、40であった。具体的には、[カタカナ表記のみ]が11例、[アルファベットのみ]は14例で、文字種が単数の場合、「アルファベット」表記の方が若干多いが、文字種が複数になると逆の現象が起きる。つまり、[カタカナを含む表記]10例に対し、[アルファベットを含む表記]が4例である。従って、「アルファベット」は単独で使われる傾向があると言え

るだろう。また、[カタカナ & アルファベット] は 1 例見つけられた。

次に、何語を表記しているかについて説明する。カタカナが用いられている例数 21 ([カタカナのみ] + [カタカナを含む表記]) の内、英語が 18 例 (85.7%)、日本語が 2 例 (9.5%)、アイヌ語 1 例 (4.7%) であった。一方、「アルファベット」表記 ([アルファベットのみ] + [アルファベットを含む表記]) の商品名は、18 例中、英語が 13 (72.2%)、日本語が 3 例 (16.6%)、ドイツ語は 2 例 (11.1%) であった。以上から、「カタカナ」と「アルファベット」表記は、約 8 割が英語に用いられていることが分かる。しかし、ドイツ語とアイヌ語のような外国語だけでなく、日本語を表すためにも 39 例中 5 例 (12.8%) 使われていることが分かった。さらに、ランキング 100 の中に、「カタカナ」と「アルファベット」の唯一の組み合わせで英語を表す BAKED オーツ が見つかったのである。実際、商品パッケージで、カタカナとアルファベット文字が一緒に目に入ることは多いのである。その場合、異なるサイズの文字で示されている。しかしながら、ネーミングとして最も顕著な表記において、この 2 種の文字が共に使われていることは珍しいと言えるだろう。

『ビスケット・クッキー』の「カタカナ」と「アルファベット」表記のネーミング総数は、49 であった。[カタカナ表記のみ] が 3 例に対して、[アルファベットのみ] は 38 例もあった。一方、複数の文字種にかんしては、組み合わせにより、異なることが分かった。[カタカナ & アルファベット] は、1 例もなかった。また、[カタカナを含む表記] は 10 例に対して、[アルファベットを含む表記] は、1 例もなかった。つまり、アルファベットは、単独でのみ用いられ、他の文字種とともにネーミング表記に見られることはなかった。

次に、表記された言語についてまとめる。まず、[カタカナのみ] (3 例) のネーミングは、部分的に英語が使われていたが、一つの表現として英語としてみなすことはできなかった。[アルファベットのみ] 38 例は、数の多さから次の 5 グループに分けた：(i) メーカー名 (ブランド名) (ii) 英語のみ (iii) 英

語を含む (iv) 英語以外の言語 (v) その他 (造語など)。各グループの割合は、[メーカー名] (9 例) 23.7%、[英語のみ] (15 例) 39.5%、[英語を含む] (3 例) 7.9%、[英語以外の言語] (7 例) 18.4%、[その他] (4 例) 10.5% であった。ネーミングが英語関連語 ([英語のみ] + [英語を含む] = 18 例) である割合は、47.4% になり、半数には届かない。しかし、[メーカー名] 9 例中 3 例 (Tokyo Rusk, TOKYO MILK CHEESE FACTORY, Cafe Primula) が英語であるから、英語関連語を 21 例 (55.3%) とすれば、約半数になる。また、[英語以外の言語] は (7 例) 18.4% で、フランス語 (4 例) が 10.5% で最も多く、日本語も 1 例 (2.6%) あった。[その他] は、主に英語の造語で、4 例 (10.5%) であった。[カタカナを含む表記] の 8 例中、5 例が英語、フランス語 2 例、オランダ語 (+ 英語) が 1 例であった。従って、カタカナが用いられている 11 例 ([カタカナのみ] + [カタカナを含む表記]) の内、英語が 5 例 (45.5%) となる。アルファベット表記は、単独だけの表記しかなく、38 例であったが、その 55.3% が英語であったので、『ビスケット・クッキー』は、「カタカナ」「アルファベット」表記共に、約半数が英語関連語であると言える。

以上の『せんべい・米菓』『スナック菓子』『ビスケット・クッキー』の結果を比較して、共通点と相違点を探ってみよう。まず、共通して観察された特徴として、第一に、「カタカナ」と「アルファベット」表記は、英語を表す傾向が見られたことである。第二に、アルファベット表記は、単独で使われる傾向があり、複数の文字種 (平仮名・漢字) の中で用いられる頻度が低いことである。第三に、「カタカナ」と「アルファベット」の組み合わせ表記の頻度が極めて低いと言える。今回の調査データでは、『スナック菓子』の BAKED オーツ 1 例のみであった。相違点としては、第一に、「カタカナ」と「アルファベット」表記の総数である。『せんべい・米菓』が 14 例、『スナック菓子』が 40 例、『ビスケット・クッキー』が 49 例で、予想通りの結果である。日本の菓子のせんべい類は、洋菓子の 3 分の 1 程度ではあるが、「カタカナ」「アルファベット」表記の商品名が使用

されていることが明らかにされた。第二に、[アルファベットのみ]の表記数にかんして顕著な違いが見られた。特に、『ビスケット・クッキー』は38の例が見られたが、『せんべい・米菓』には1例しかなかった。しかし、[カタカナのみ]のネーミング数にかんしては、『せんべい・米菓』と『ビスケット・クッキー』は、どちらも3例であったことは注目すべきである。第三に、英語関連語の割合である。『せんべい・米菓』は「カタカナ」だけであるが、英語関連語が約8割であった。『スナック菓子』は、「カタカナ」「アルファベット」表記の約8割が英語であったが、『ビスケット・クッキー』は、約5割であった。これは、英語以外の外国語を表しているネーミングが多いからである。第四に、『スナック菓子』と『ビスケット・クッキー』を比べてみると、[カタカナのみ]と、[アルファベットのみ]との例数の差が顕著である。即ち、『スナック菓子』は、[カタカナのみ] (14例) に対して、[アルファベットのみ] (11例) であり、数の差があまりないのだが、『ビスケット・クッキー』に関しては、[カタカナのみ] (3例) に対して、[アルファベットのみ] (38例) というように、例数にかんして相当な開きが見られ、不均衡である点が特徴的である。

5. 結論

本稿は、日本語の商品名に於ける「カタカナ」と「アルファベット」に焦点を置いて、主に、商品と表記との関連性、また、これら表記の役割を考察した。Web上で、amazon.co.jpの売れ筋ランキング上位の『せんべい・米菓』『スナック菓子』『ビスケット・クッキー』のデータを調査し比較した。カタカナ・アルファベットの使用頻度の違いだけでなく、外国語関連の割合などを詳細に考察した。2節では、日本語の表記と機能について概観した。3節は、商品名に於ける「カタカナ」と「アルファベット」に注目して、ランキング100位までの調査結果を紹介し、分析を行なった。4節では、3節で扱われた調査結果に基づいて、これらの菓子3種に共通する特徴だけでなく、異なる点にも言及した。

結論として提案したのは、次の共通点と相違点で

ある。共通点は次の3点である：(i)「カタカナ」と「アルファベット」表記が英語を表す傾向があること (ii) アルファベット表記は、単独で使われる傾向があること (iii)「カタカナ」と「アルファベット」の組み合わせ表記の頻度が極めて低いこと。また、相違点は次の4点である：(i)「カタカナ」と「アルファベット」表記の総数：『せんべい・米菓』14例、『スナック菓子』40例、『ビスケット・クッキー』49例 (ii) [アルファベットのみ]の表記数：『ビスケット・クッキー』38例、『スナック菓子』14例、『せんべい・米菓』1例 (iii) 英語関連語の割合：『せんべい・米菓』&『スナック菓子』約8割、『ビスケット・クッキー』約5割 (iv)『スナック菓子』と『ビスケット・クッキー』間の[カタカナのみ]と[アルファベットのみ]との例数の差：『スナック菓子』は差があまりなく、『ビスケット・クッキー』は[アルファベットのみ]が極めて多く、差が大きい。

最後に、英語以外の外国語と日本語にかんする興味深い発見について述べることにする。予想されたように、『ビスケット・クッキー』は、英語以外の外国語としてフランス語が最も多く、1割程度であった。日本語の関連性は低く、SUNAOの1例だけが見つかったが、カタカナ表記の純粋な日本語由来のネーミングは見つからなかった。しかし、『せんべい・米菓』では、英語以外の外国語は、日本語のみで、4例(バンザイ、Kumitte他)であった。さらに、『スナック菓子』では、5例のネーミング(オサカーナ、Jagabee他)に、日本語との関連性が認められた。絶対数は少ないであろうが、商品名において、日本語は、「カタカナ」だけでなく、「アルファベット」でも表記されているのである。特に、アルファベット表記にすることは、日本から離れた異国的イメージを持たせることが可能であり、新しい菓子としての付加価値を付けることが容易にできるであろう。

注

- 1) 正確には、記号も含まれている。例えば、「コーヒー」の「ー」は、「長音符」と呼ばれる記号である(清海(2022)を参照のこと)。「ー」自体

- は音を表さず、直前の母音を延ばして発音することを示している。本稿では、便宜上、長音符を文字に付属した性質として、カタカナの一部として扱うことにする。
- 2) 清海 (2022) は、外国語の観点から日本語の表記の特徴を論じている。
- 3) 北原 (監修) 林 (編) (2018: 22) によると、現代日本語の書記法は、「漢字平仮名交じり文」と言われているが、実際には、カタカナ、洋数字、符号、アルファベットも使われ、これら全ての種類を含む表記で書かれることは、不思議ではないという。
- 4) 外来語以外でのカタカナ表記については、増地 (2018, 2019) を参照のこと。
- 5) ネット通販サイト amazon.co.jp のランキングのサイトは、以下の通りである。<https://www.amazon.co.jp/ranking?type=top-sellers&ref_nav_cs_best-sellers> 調査は、2023年8月25日から26日にかけて実施した。
- 6) 30のサブカテゴリーを以下に記す。
お酒、アイスクリーム・氷菓、グルメギフト、コーヒー・紅茶・お茶・粉末ドリンク、ジャム・はちみつ、ドリンク、パン・ケーキ、ベビーフード、ミールキット、レトルト・料理の素、乳製品・卵・植物由来代替品、乾物、介護用食品、健康食品、冷凍食品、惣菜・チルド食品、果物、漬物・佃煮・煮豆、生鮮魚介類・水産加工品、米・雑穀、粉類、精肉・肉加工品、缶詰・瓶詰、菓子・スナック、製菓・製パン材料、調味料・食用油・ドレッシング、豆腐・納豆・こんにゃく・練り物、野菜、麺類・パスタ
- 7) 中央軒煎餅のHP: 「「つなぐ」の想いを込めて」 <https://note.com/chuoken_senbei/n/n70471477f66a>
- 8) この商品名は、「日本ネーミング大賞」のルーキー部門で最優秀賞に選ばれた。詳しくは、日本経済新聞の記事 <<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC061J10W2A201C2000000/>> (2022年12月8日) を参照のこと。「万歳」を漢字でなく、カタカナにした理由は、多分、「万歳山椒」とすると、堅い表記になりすぎ、ことば遊びに向いていないからであろう。
- 9) タニタのHP <<https://www.tanita.co.jp/company/history/>> によると、1923年(大正12年)に谷田賀良俱 [たにだ かるく] 商店として創業され、1986年(昭和61年)に「タニタ」に改称されている。
- 10) 正確には、babyの発音は、[béibi] なので、「ベイベー」と表記されるべきであるが、通常、日本語では「ベビー」と発音している。また、日本のラーメンは、英語で 'ramen' として定着している。
- 11) 明治HP <<https://www.meiji.co.jp/sweets/snack/karl/episode/>> によると、この菓子の形状である「ぷっくり、くるりんとしたカールの形にぴったり合う名前ということで、昭和30年ころ流行っていたカール人形という女の子のお人形」が参考にされたという。つまり、人形の髪の毛の 'curl' をカタカナにしたのである。
- 12) ITmedia Inc. のサイト <<https://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1908/14/news007.html>> (2019年8月14日) 「駄菓子屋で買えるカップ麺「ブタメン」はなぜ生まれたか? 幻の生麺タイプや「焼そば」の存在も)
- 13) カタカナの「パスタスナック (18位)」もあるが、web上で、メーカーの三州製菓の商品パッケージを見ると、種類によってカタカナかアルファベット、または、両方とも使われている商品もある (<<https://shop.sanshu.com/collections/pastasnack-allproducts?page=1>> <<https://shop.sanshu.com/collections/pastasnack-allproducts?page=2>>))。
- 14) この商品のメーカーであるFritoLay (フリトレー) のHP <https://www.fritolay.co.jp/customer/faq/post_11/#:~:text=マイクとはどんな意味,たと言われている%E3%80%82> によると、商品名の由来は諸説あるが、1957年に日本で初めてポップコーンを製造・販売した社長のニックネームが「マイク」だったと言われている。

- 15) このように、一つの語から部分的に切り取る造語方式を横井(2002: 57-59)は「切り取り(clipping)方式」と呼んでいる。PRETZの由来は、グリコのHP<https://www.glico.com/assets/files/1702pretz-history__1.pdf>によると、ドイツでおつまみとして親しまれている“プレツェル”を由来に製品名としたということである。
- 16) GlicoのHP<<https://www.glico.com/jp/customer/qa/2777/#:~:text=「グリコ」の名前はグリコーゲン,菓子”として売り出しました%E3%80%82>>>によると、栄養素のグリコーゲン(Glykogen: ドイツ語)が由来であるという。
- 17) PR Times (2021.3.26) <<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000669.000030525.html#:~:text=そら豆本来の豊かな,食感で楽しめます%E3%80%82&text=商品名の「miino」に,が込められています%E3%80%82>>>
- 18) CalbeeのHP<<https://www.calbee.co.jp/jagabee/history/>>。横井(2002: 54-56)は、このように2つの単語の部分を混成することで、新たなことばを作る方法を混成(blending)方式と呼んでいる。
- 19) 「ハバネロ」は、英語では‘habanero’であるが、この語の由来は、「ハバナの」を意味するスペイン語である。『スーパー大辞林』によると、[メキシコ原産の唐辛子。世界一辛い香辛料といわれている。] Wikipediaによると、暴君ハバネロというネーミングは、世界一辛いと認定されているトウガラシ属の植物である「ハバネロ」と、ローマ帝国第五代皇帝で、悪名高い「暴君ネロ」を合わせた駄洒落ということである。これは一種の語呂合わせといえるであろう。
- 20) 「サプリ」は栄養補助食品を意味する‘supplement’(サプリメント)の日本語での省略形である(『広辞苑 第七版:「サプリはサプリメントの略」)。しかしながら、英語には省略形はない。
- 21) CalbeeのHP<https://faq.calbee.co.jp/faq_detail.html?page=1&category=&id=35&k_id=QATyhKqqWmY%3D>を参照した。
- 22) Glico HP<<https://www.glico.com/jp/health/contents/bisco04/#:~:text=利一は,酵母が,乳酸菌”が入っています%E3%80%82>>>
- 23) 六花亭のHP<<https://www.rokatei-eshop.com/store/ProductDetail.aspx?sku=10048#:~:text=当社専用の小麦粉で,を模しています%E3%80%82>>>
- 24) 「メゾン デュ ミエル」は、2020年創業の日本のフランス菓子店。フランス語で「蜂蜜の家」という意味。
- 25) 「エイチドット」と読む。TANPのHP<<https://tanp.jp/products/view/22072>>によると、H.(エイチドット)は、「今までの歴史を振り返り、人々の心を強く動かすであろう‘平成’というワードをコンセプトに商品を作るという思いから生まれたそうである。
- 26) 由来は、HPでは、わからなかった。カタカナでは「ロンジェ」であり、フランス語の発音であると判断した。
- 27) 江崎グリコのHP<<https://cp.glico.com/sunao/>>によると、おいしさを楽しみ、健康を両立する願いを叶える想いで、付けられた名前であり、食べたい気持ちに素直になれるということである。
- 28) 2つの単語の部分を混成して新しいことばを作り出す方法は、混成(blending)方式である(横井2002: 54-56)。
- 29) ‘Cafe’(または‘café’)は、フランス語由来であるが、「喫茶店」を意味し、英語で使われている。また‘primula’は、「プリムラ(サクラソウの一種)」を表す英語であると考えた。
- 30) これらの情報は、主に関連菓子会社のHPを参考にした。

参考文献

- 沖森卓也・陳力衛・木村義之・山本 真吾 2006.『図解 日本語』三省堂, 東京。
- 北原保雄(監修), 林史典(編) 2018.『新装版 朝倉日本語講座 2 文字・表記』朝倉書店, 東京。
- 清海節子 2022.「ネーミングと表記—商品の表す文字・符号・数字の視覚的効果—」『駿河台大学論叢』64:17-33.
- 今野真二 2017.『漢字とカタカナとひらがな』(平

凡社新書 856) 平凡社, 東京.

増地ひとみ 2018. 「学術雑誌におけるカタカナの役割と使用実態—カタカナ表記で出現する語とコンテキストとの関連」『国文学研究』184: 1-15.

増地ひとみ 2019. 「非外来語のカタカナ表記」研究の現状と今後の展望『愛知淑徳大学論集文学部篇』44: 143-159.

横井恵子 2002. 『ネーミング発想法』(日経文庫 849) 日本経済新聞社, 東京.

辞典

新村出(編) 2018. 『広辞苑 第七版』(電子版) 岩波書店.

松村明(編) 『スーパー大辞林』(Mac バージョン 2.3.0 (268)) 三省堂.

森山卓郎・渋谷勝己(編) 2020. 『明解日本語学辞典』三省堂.